



2023年3月24日

各位

会社名 株式会社ピエトロ
 代表者名 代表取締役社長 高橋 泰行
 (コード番号: 2818 東証プライム)
 問合せ先 取締役 経理部長兼経営企画室担当
 森山 勇二
 TEL (092)724-4925

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月11日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」(<https://www2.jpx.co.jp/disc/28180/140120211110431021.pdf>) (以下、「計画書」といいます。)を提出し、その内容について開示しております。2022年12月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年12月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額及び1日平均売買代金については引き続き基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額及び1日平均売買代金に関して2026年3月期までにそれぞれ上場維持基準を充たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
適合状況 及び推移	2021年6月30日時点 ※1	28,197	49	45.0	0.1
	2022年3月31日時点 ※2	30,041	53	48.0	0.1
	2022年12月31日時点 ※3	—	—	—	0.1
プライム市場上場維持基準		20,000	100	35	0.2
当初の計画書に記載した計画期間		—	2026年3月期	—	2026年3月期
更新後の計画期間		—	—	—	2025年12月 ※4

※1 同日(基準日)時点で東証が把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 同日時点の当社の株券等の分布状況等をもとに当社が東証の算出方法に合わせて算出したものです。

※3 2023年1月に東証より通知された「上場維持基準(売買代金基準)への適合状況について」に基づき記載しております。

※4 東京証券取引所が毎年12月末日以前1年間における東京証券取引所の売買立会での金額を日次平均にした値を審査するため、計画期間を2026年3月期から変更しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価(2021年11月～2022年12月)

計画書において開示した、取り組みの基本方針、課題及び取組内容に関する進捗状況は、次のとおりです。

【流通株式時価総額】及び【1日平均売買代金】

流通株式時価総額及び1日平均売買代金の基準適合を目指し、流通株式比率を上げるために、2021年5月26日に120,000株の立会外分売を行っていましたが、流通株式比率を更に引き上げるべく、流通株式の対象外となっている既存株主持ち分の流動化について交渉を進め、

2022年8月12日に120,000株の立会外分売を行いました。

上記の他、計画書の別添資料において開示した、経営環境及び経営戦略ならびに人的資本への投資と働く環境づくりに関する進捗状況は、当社の2022年3月期決算説明資料をご参照ください。

(<https://www.pietro.co.jp/company/ir/library/presentation.php>)

※参照ページ

【経営環境及び経営戦略】

①食品事業、②レストラン事業（決算説明会資料 P13～P24）

③海外北米事業、⑤新工場建設（決算説明会資料 P27）

【人的資本への投資と働く環境づくりについて】（決算説明資料 P27）

なお、人的資本への投資と働く環境づくりに関する当社の取組みを評価いただき、2023年3月3日に「人を大切にする経営学会」が主催する第13回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞において、審査員特別賞を受賞いたしました。

また、計画書の別添資料において開示した、その他の取組みに関する進捗状況は、次のとおりです。

【今後の新規事業】

- ・株式会社タニタが展開する「タニタカフェ」と、初のコラボレーションとして共同で商品開発をした新シリーズ『pietro daily plus（ピエトロデイリープラス）』を2022年6月に両社にて先行発売いたしました。この新シリーズは“我慢”や“制限”といった無理をせず、毎日の生活においしくたのしく“プラス”できる新しい健康習慣を提案する商品で、同年9月からは量販店での販売も開始しました。

【株主還元】

- ・2021年11月12日に102,900株、総額182,235,900円の自己株式取得を行いました。

【IR活動の推進・強化】

- ・株主の皆さまとの対話機会の充実を図るべく、2022年5月27日に名古屋市で、また、同年9月10日には東京で株主説明会を開催しました。なお、2023年2月25日には大阪でも同様の説明会を開催しました。
- ・当社への理解を更に深めていただけるように当社IRウェブサイトにおける財務及び非財務情報のコンテンツの充実を図っております。

IRポータル：<https://www.pietro.co.jp/company/ir/>

個人投資家向け：<https://www.pietro.co.jp/company/ir/individual.php>

- ・非財務情報44件のリリースを行いました。（2021年12月1日～2022年12月31日）

【ESG・サステナビリティの取り組み】

- ・主力商品であるドレッシング（280ml）及び液状パスタソース（180ml）のボトルに使用するプラスチックの一部をバイオマスプラスチックに切り替えました（ドレッシングは2022年4月以降、パスタソースは2022年6月以降）。合計で年間122tの石油由来プラスチックの削減とボトル1本あたり約12%のCO₂排出量削減（2020年1月～12月のボトルの製造実績数から自社算定）を見込んでいます。更に2022年10月から280mlシリーズのパッケージ仕様をテープカットレスに見直すことで、年間564kgの脱プラを見込んでいます。また、これまでの活動を評価いただき、2022年6月に第11回「福岡市環境行動賞」において、奨励賞を

受賞しました。

- ・外国人株主の権利行使に係る環境や実質的な平等性を確保するため、2022年5月の決算開示より決算短信について英語での開示を開始し、2022年6月開催の第37期定時株主総会より招集通知について英語での開示と議決権行使プラットフォームの利用を開始しました。
- ・2022年6月開催の第37期定時株主総会より取締役候補者のスキル・マトリックスの開示を開始しました。

以上の取り組みが当社への投資魅力を高め、当社の価値向上に繋がるものと考えております。

3. これまでの状況を踏まえた今後の課題・取組内容

流通株式時価総額及び1日平均売買代金について基準を満たしておらず、更に流動性を向上させることが課題ではありますが、計画期間内でのプライム市場上場維持基準の達成に向けて、適合計画は着実に進捗しており、現時点では変更の必要性はないものと判断しております。

引き続き計画書に基づく取り組みを進めるとともに、必要に応じたコーポレート・アクションにより企業価値の更なる向上を目指してまいります。

以 上